

各保健所長の皆さんは、コロナ対策で大変な状況と思います。北海道も都道府県別では一番患者が多い地域となり、対策に追われる毎日を過ごしています。

さて、今号は社会医学系専門医研修プログラム統括責任者連絡会議と、九州ブロックで開催された指導医講習会の実施報告をお届けします。

1 社会医学系専門医研修プログラム統括責任者連絡会議

(東京：12月8日・大阪：12月22日)

社会医学系専門医協会の研修プログラム統括責任者連絡会議が昨年12月に東京と大阪で開催されました。これは「研修プログラム整備基準」の中で示されている「協会が開催する統括責任者研修会」に該当するもので、各プログラムの統括責任者は年1回開催されるこの研修会に原則として毎年参加することとされています。今年度は、12月8日に東京大学医学部で、12月22日に大阪大学中之島センターにおいて、それぞれ開催されましたが、各プログラムの統括責任者は都合がつくどちらか一方の会議に参加すればいいように、開催内容は基本的に同一の内容となっています。

会議では、研修プログラム認定委員会の委員長で産業医科大学の森晃爾教授から「研修プログラムの現状と課題」として、全国のプログラムから毎年1回義務付けられている定期報告や随時受け付けている質問などの中から、プログラム運営に関する留意事項等についてお話がありました。次に、社会医学系専門医協会の理事で東京大学の久保靖司教授から「研修手帳の記入について」として、定期報告に合わせて報告された研修手帳の具体的な記載例から推奨される内容や不十分な内容などについてお話がありました。

さらに、専門医・指導医認定委員会からの報告として、昨年8月に初めて実施された社会医学系専門医試験の概要について、東京会場では山梨大学の山縣然太朗教授から、大阪会場では神奈川県健康医療局の前田光哉技監から、それぞれご報告がありました。また、会議の後半では各プログラムの統括責任者がグループに分かれて、具体的な指導方法や指導内容に関するディスカッションが行われ、大変有意義な意見交換が行われました。

社会医学系専門医制度が開始されて今年度で3年目になりますが、全国の各プログラムでは試行錯誤の中でよりよいプログラム運営に向けた努力が続けられています。また、この制度では若手医師の確保や育成だけでなく、若手医師の指導を通じてベテラン医師の資質向上なども期待されています。全国の統括責任者が参加される本会議等を通じて他プログラムの優れた取り組みを参考にしながら、みなさまの所属される自治体やプログラムにおかれましても公衆衛生・行政医師の確保育成に取り組んでいただけると幸いです。

2 ブロック別指導医講習会の実施報告

九州ブロック：令和元年11月7日開催

(講師：西田 敏秀 宮崎市保健所長

記録：宗 陽子 長崎県県央保健所長)

九州ブロック社会医学系専門医指導医講習会は、令和元年11月7日(木)に宮崎市中央公民館において、九州ブロック保健所連携推進会議の後に15時から16時までの1時間開催されました。

受講者は、会員33名(指導医28名、専攻医3名、未取得2名)、非会員2名(指導医1名、専攻医0名、未取得1名)、併せて35名(指導医29名、専攻医3名、未取得3名)でした。

資料としては、一般社団法人社会医学系専門医協会の専門医・指導医認定委員会作成の「社会医学系専門医制度 説明資料(2019年度版)」に「専門医・指導医の更新ルール(K単位とG単位)についての解説」と「社会医学系専門医の認定更新チェックリスト」を追加されました。

質疑はありませんでしたが、専門医・指導医の更新ルールについて、追加資料により、K単位、G単位について詳しい説明があり、大変わかりやすかったと思います。また、認定更新のためのチェックリストも資料として配布があり、改めて各自でチェックすることにより、認定要件を確認することが出来ました。

社会医学系専門医認定試験に備えてeラーニングをしっかりと受講して欲しいとの説明がありました。

保健所連携推進会議では、厚生労働省 健康局健康課 地域保健室の田中彰子室長補佐から「地域保健の最近の現状と課題」、福岡県糸島保健所の宮崎親所長から「災害における総合調整本部の体制と保健所の役割～九州豪雨災害対応の経験から～」、大分県健康づくり支援課 健康寿命延伸班の吉田知可主幹から「災害時の保健師活動と保健所長への期待」、産業医科大学 産業保健学部 産業・地域看護学講座 樺田尚樹教授から「受動喫煙対策について」の講演があり、実際の災害対応経験からの具体的な公衆衛生活動や我が国の喫煙の実態やたばこ対策について学ぶことができました。

3 社会医学系専門医協会からのお知らせ

社会医学系専門医協会ホームページの「お知らせ欄」に2020年1月28日「社会医学系専門医・指導医更新について(考え方・申請所様式の掲載)」を掲載しましたので、皆様、ご確認をお願いします。

発行責任者：山本長史(公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長)